

授業改善プラン

1 年 教科 (理科)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1 学期		2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	課題分析 (授業分析・プランの一次評価)	一次評価後の 具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて
自然事象への関心・ 意欲・態度	○自然事象への関心が高く、実験や観察に対する意欲もある。	・生徒の興味・関心を引くようなことがらを授業に盛り込み、できるだけ、本物を用意する。	○男子生徒の多くは理科的な事象への関心が高いが、女子生徒の多くは興味関心が薄い。	・継続して興味・関心を引くようなことがらを授業に盛り込み、できるだけ、本物を用意する。	
科学的な思考・表現	○科学的な思考を行うための基礎知識がまだ不十分である。	・単元の最後で科学的な思考を必要とする課題を与え考えさせる。	○基礎知識は不十分であるが、一部生徒で結果を分析し解釈する能力の向上が見られる。	・継続して単元の最後で科学的な思考を必要とする課題を与え考えさせる。	
観察・実験の技能	○顕微鏡の扱いやバーナーの扱いなど特異な生徒と苦手な生徒にはっきりと分かれる。	・実験でガスバーナーなどを使う機会を増やし、安全指導を徹底する。	○実験の準備、片付けのルールが定着していない。	・実験の機会を増やし、安全指導や準備片付けのルールを徹底する。	
自然事象についての 知識・理解	○知識が定着していない生徒がいる。	正答率が低かった問題を次回にも一部出題する。	○物理化学分野が苦手な生徒が多い。	引き続き、正答率が低かった問題を次回にも一部出題する。	
授業改善の検証方法	授業内での態度や課題、小テストや定期テストの点数の推移		授業内での態度や課題、小テストや定期テストの点数の推移		

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	1 学期の成果と課題	1 学期の成果を踏まえた 具体的な改善、追加事項	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	情報交換 小中の関連単元の確認 と重点項目の確認。	関連単元である植物について、ヘゴシダ等、島に特有の生物への関心が高まった。	金属やプラスチックなど日常で扱う物質について生徒の関心を高める教材を用意する。	日常で扱う物質について生徒の関心が高まった。	

授業改善プラン

2年 教科 (理科)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1 学期		2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	課題分析 (授業分析・プランの一次評価)	一次評価後の 具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて
自然事象への関心・ 意欲・態度	○実験や観察に対する意欲はあるが、苦手意識をもっている生徒もいる。	・生徒の興味・関心を引くようなことがらを授業に盛り込み、できるだけ、本物を用意する。	○生物分野はよく理解しているが、電気分野の計算は苦手な生徒が多い。	・電気分野の計算問題を解く練習を行う。	
科学的な思考・表現	○科学的な思考を行うための基礎知識がまだ不十分である。	・単元の最後で科学的な思考を必要とする課題を与え考えさせる。	○解釈する能力や表現力が向上した。	・疑問をもったことを深める探究的な学習場面を設定する。	
観察・実験の技能	○加熱操作が苦手、秤量に時間がかかる、あるいは正確に計れない生徒がいる。	・単元が変わるが、目盛りの読み方などをもう一度学ぶ機会をつくる。	○班で行う実験については、指示どおり計画的に実験をすることができた。	・物理分野でも目盛りの読み方などをもう一度学ぶ機会をつくる。	
自然事象についての 知識・理解	○知識が定着していない生徒がいる。	正答率が低かった問題を次回にも一部出題する。	○生物分野はよく理解しているが、計算が苦手な生徒が多い。	・引き続き振り返りテストを実施する。	
授業改善の検証方法	授業内での態度や課題、小テストや定期テストの点数の推移		授業内での態度や課題、小テストや定期テストの点数の推移		

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	1 学期の成果と課題	1 学期の成果を踏まえた 具体的な改善、追加事項	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	情報交換 小中の関連単元の確認 と重点項目の確認。	錆びの話など、八丈島に関連する化学変化を話題にすることで生徒の関心が高まった。	情報交換 小中の関連単元の確認 と重点項目の確認。	生物分野はよく理解しているが、電気分野の計算は苦手な生徒が多い。	

授業改善プラン

3 年 教科 (理科)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1 学期		2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	課題分析 (授業分析・プランの一次評価)	一次評価後の 具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて
自然事象への関心・ 意欲・態度	○実験や観察に対する意欲はあるが、苦手意識をもっている生徒もいる。	・生徒の興味・関心を引くようなことから授業に盛り込み、できるだけ、本物を用意する。	○苦手意識をもっている生徒もいるが、興味を持ってしっかりと話を聞くことができる。	・自主的な学習を促すよう学習のしかた、内容を提示して意欲を引き出す。	
科学的な思考・表現	○科学的な思考を行うための基礎知識がまだ不十分である。	・単元の最後で科学的な思考を必要とする課題を与え考えさせる。	○科学的な思考を行うための基礎知識がまだ不十分である。	・学びから疑問をもち、それを深める探究的な学習場面を設定する。	
観察・実験の技能	○顕微鏡の扱いや実験結果の整理の仕方に慣れてきたが、時間のかかる作業がある。	・観察や実験をたくさん行い、操作に慣れさせる。	○実験結果の整理の仕方に慣れてきたが、時間のかかる作業がある。	・継続して観察や実験をたくさん行い、操作に慣れさせる。	
自然事象についての 知識・理解	○知識が定着していない生徒がいる。	正答率が低かった問題を次回にも一部出題する。	○知識が定着していない生徒がいる。	・引き続き振り返りテストを実施する。	
授業改善の検証方法	授業内での態度や課題、小テストや定期テストの点数の推移		授業内での態度や課題、小テストや定期テストの点数の推移		

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	1 学期の成果と課題	1 学期の成果を踏まえた 具体的な改善、追加事項	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	情報交換 小中の関連単元の確認 と重点項目の確認。	卒業時のイメージを明確にすることができた。	情報交換 小中の関連単元の確認 と重点項目の確認。	高校での学習に必要な知識を少し定着させることができた。	